

▼オプリーン錠 [内] <未販売>

【重要度】 【一般製剤名】セチリストット cetilistat 【分類】肥満症治療薬

【単位】▼120mg/錠

【常用量】1回 120mg, 1日3回

【用法】毎食直後

【透析患者への投与方法】設定されていない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】高シュウ酸に注意 (5)

【特徴】膵リパーゼを阻害し、脂肪の分解を阻害して腸管からの吸収を抑制する。2型DMと脂質異常症を共に有し、食事療法・運動療法を行ってもBMIが25以上の肥満患者が適応。

【主な副作用・毒性】下痢、脂肪便、悪心、腹部膨満、肝機能障害、発疹、脂溶性ビタミンの低下、尿路結石、高シュウ酸尿症、シュウ酸腎症、腎結石、胆石症など。

【安全性に関する情報】食事中の脂質摂取量が多いと、下痢や脂肪便が起こりやすくなる。シュウ酸の増加は、リパーゼ阻害による脂質吸収抑制に伴う腸内シュウ酸増加(脂肪酸とCaが結合して排泄されるため、シュウ酸の吸収が増加する?)が関与するとされている。

【F】吸収されない (1)

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】

【MW】401.58

【透析性】該当しない (1)

【OW係数】

【相互作用】他のリパーゼ阻害剤によりシクロスポリンの濃度低下、レボチロキシンの効果減弱、ワルファリンの作用増強例あり (1) 類薬のオルリスタットでは、脂溶性ビタミン併用時に2時間以上あけるように指示されている (1)

【更新日】20180717

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。